

ご使用に際し、この添付文書は必ずお読みください。
また、必要な時に読めるよう大切に保管してください。

2012年6月：記載要領変更、用法・用量の変更に伴う改訂

第②類医薬品 鎮痛薬 西海華朗利



使用上の注意

してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなる)

1. 次の人は服用しないこと

(1)本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人。

(2)本剤又は他の解熱鎮痛薬、かぜ薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人。

2. 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も使用しないこと

他の解熱鎮痛薬、かぜ薬、鎮静薬

3. 服用前後は飲酒しないこと

4. 長期連用しないこと

相談すること

1. 次の人は服用前に医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

(1)医師又は歯科医師の治療を受けている人。

(2)妊婦又は妊娠していると思われる人。

(3)水痘(水ぼうそう)若しくはインフルエンザに かかっている又はその疑いのある小児(7歳以上15歳未満)。

(4)高齢者。

(5)薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。

(6)次の診断を受けた人。

心臓病、腎臓病、肝臓病、胃・十二指腸潰瘍

2. 服用後、次の症状があらわれた場合には直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

関係部位	症 状	関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ	精神神経系	めまい
消化器	吐き気・嘔吐、食欲不振	その他	過度の体温低下

まれに下記の重篤な症状が起こることがある。
その場合は直ちに医師の診療を受けること。

症状の名称	症 状
ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息くるしさ、動悸、意識の混濁等があらわれる。
皮膚粘膜眼症候群 (ステイブンス・ジョンソン症候群) 中毒性表皮壊死融解症	高熱、目の充血、目やに、唇のただれ、のどの痛み、皮膚の広範囲の発疹・発赤等が持続したり、急激に悪化する。
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。
ぜんそく	息をするときゼーゼー、ヒューヒューとなる、息苦しい等があらわれる。

3. 5～6回服用しても症状が良くならない場合は服用を中止し、医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

【効能・効果】

- (1)頭痛・歯痛・抜歯後の疼痛・咽喉痛・耳痛・関節痛・神経痛・腰痛・筋肉痛・肩こり痛・打撲痛・骨折痛・ねんざ痛・月経痛(生理痛)・外傷痛の鎮痛
(2)悪寒・発熱時の解熱

【用法・用量】

次の1回量を1日2回を限度とし、なるべく空腹時をさけ、水又はお湯で服用すること。服用間隔は6時間以上おくこと。

年 齢 区 分	服用量(1回量)	年 齢 区 分	服用量(1回量)
15才以上	1包	11才以上15才未満	2/3包
7才以上11才未満	1/2包	7才未満	服用しないこと

【用法・用量に関連する注意】

小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させること。

【成分・分量・はたらき】

1日量 2包(2,000mg)中

成 分	分 量	は た ら き
アセトアミノフェン	600mg	炎症を抑え、頭痛、歯痛、関節の痛みをやわらげ、熱を下げます。
エテンザミド	800mg	痛みをしずめ、熱を下げます。
無水カフェイン	100mg	痛みをおさえる成分の働きを助けます。

添加物：乳糖水和物、カルメロースナトリウム

【保管及び取扱上の注意】

- (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管すること。
- (2) 小児の手の届かない所に保管すること。
- (3) 他の容器に入れ替えないこと（誤用の原因になったり品質が変わる）。
- (4) 1包を分割した残りを服用する場合には、袋の口を折り返して保管し、2日以内に服用すること。
- (5) 使用期限（外袋記載）の過ぎた製品は服用しないこと。

お問い合わせ先

製造販売元 西海製薬株式会社

住 所 佐賀県三養基郡基山町大字宮浦192番地

電話番号 0942-92-2303(代)

受付時間 9:00～17:00(土、日、祝日を除く)